

福生三中だより

令和6年6月10日発行 No.3

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

第51回体育祭

スローガン「天下無双 アイドル ~君は究極の覇者だ~」

校長 増木 一 仁

5月25日に第51回体育祭を開催しました。当日は多数のご来賓、保護者、地域の方々にご観覧いただき誠にありがとうございました。生徒も多くの人に観ていただくことで、競技に、係の仕事にいつも以上に頑張ることができたのではないかと思います。

今回の体育祭に向けて生徒には「みんなが笑顔で終われる体育祭にしてほしい」ということを話してきました。運動が得意な人もいれば苦手な人もいます。運動が得意な人は、他の人以上に頑張るとともに、苦手な人に励ましの声をかけて一緒に頑張ってもらいたい。苦手な人は自分のできることを精一杯頑張る。そうすることでみんなで頑張ることができ、笑顔で終わることができる。こうした姿、取り組みは見ていて心地よい。見ている人に感動を与える。美しいものである。三中の教育目標「美しいものを求め、豊かな心をもつ」ということにもつながる。みんなで「美しく、素敵な」体育祭を作っていきたいと思います。そして体育祭本番、閉会式で話したように、これまで練習してきたことを全て出し切り、全力で取り組み、みんなで協力し、励まし合い、称え合い、みんなが笑顔で終わることができたのではないかと思います。事後のアンケートや感想でもほぼ全員の生徒が一生懸命取り組むことができた、お互いに励まし合えた、団結できた、楽しく終わった、いい思い出になったと答えています。スローガンのごとく、この上ない、一人一人が輝く体育祭にできたことをとてもうれしく思います。体育祭の取組で学んだことをこれからの生活の中に活かして行ってほしいと思います。

さて、6月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。本校の「学校いじめ防止対策基本方針」では以下のように定めてあります。（全文は学校HPに掲載してあります）

2 いじめの防止についての基本的な考え方

いじめは人間として絶対に許されない、人権に関わる重大な問題である。生徒は、学校という小さな社会の中で様々な人と接する。つまり、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる可能性があり、教職員が日頃から些細な予兆を見逃さないように努め、学校全体で組織的に対応していく。

また、学校は生徒が友人や教職員との信頼関係の中で、安心して安全に生活できる場になるよう、思いやりやいたわりをもった集団が形成され、仲間と共に人間的に成長できる学校づくりを進める。

体育祭同様、保護者、地域の皆様と一緒に、みんなで見守り、子供たちを育てていきたいと思っております。生徒のことで気になる様子などありましたら、いつでも学校までご連絡ください。どうぞよろしく願いいたします。

生徒会総会 5月11日（土）

学校公開日の1校時、生徒総会を行いました。生徒会役員を中心に代表委員・各委員長がより良い三中を作っていくための活動方針を提案し、無事承認されました。質問者からは肯定的な意見も出され、三中生全員で学校をより良くしようという雰囲気がありました。



「花植え」家庭科部とCS委員 5月14日（火）

毎年参加しているふっさ花とみどりの会「花いっぱい運動」の花植えを家庭科部とCS委員と協力して花壇に花を植えました。今年のデザインは、「♡COLORFUL♡」になりました。



第51回体育祭 5月25日（土）

